

令和 8 年 5 月 15 日

東京保育専門学校
校長 榎本 勝己 殿

東京保育専門学校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会報告

令和 7 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ①野上 秀子（東京都私立幼稚園連合会理事、私立久我山幼稚園園長）
- ②西 隆太郎（お茶の水女子大学文教育学部人間社会科学科教授）
- ③加藤 路子（公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会事務局長）
- ④山本 祥子（れんげ桜が丘保育園園長、本校卒業生）
- ⑤松浦 栄子（私立サンタ・セシリア幼稚園園長）
- ⑥工藤 幸代（保育科 1 部在学学生保証人（保護者））
- ⑦阿部 千恵子（保育科 2 部在学学生保証人（保護者））
- ⑦野崎 能成（学校法人アルウィン学園玉成保育専門学校 事務局長）
- ⑧大沼 康（株式会社矢島工務店代表取締役、東京商工会議所杉並支部地域振興委員会
高円寺ブロック 副ブロック長）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第 1 回委員会 令和 7 年 11 月 28 日（オンライン会議）
第 2 回委員会 令和 8 年 3 月 24 日（オンライン会議）

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標について

重点目標について、各目標に向かったの取り組みは評価できる。一方、課題もあるため、来年度に向けて一層の努力を期待している。

特筆すべき点として以下を挙げる。

- ・定員充足に向けての取り組みが実を結びつつあることは、現在の社会状況を考えると大変素晴らしい。
- ・教職員の募集活動など、負担が増えていると思うが、同時に教育内容の充実を図るために、そうした負担軽減や教職員へのサポートも必要。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

昨年度から引き続き、建学の精神、教育理念を明確にしており、それに基づく方針や目標設定があり、目標達成のために堅実な取り組みが行われていることを評価する。引き続きよりよい改善に取り組んでいただきたい。

特筆すべき点として、以下を挙げる。

- ・フレッシュャーズキャンプや各種授業での取り組みにより、学生の主体性を生かした体験は、保育者として成長していく上で大変重要。
- ・人権意識も現代社会においてますます重要なものとなり、一人ひとりの学生が自分自身、この学校に身を置くことでその大切さを実感していることと思う。

2 学校運営

基準の各項目について、運営方針のもと、それぞれ事業計画として策定されており、評価できる。ただし、今後改善を進める必要がある内容もあるので、引き続き取り組んでいただきたい。

特筆すべき点として、以下を挙げる。

- ・入学者数の減少という危機に対し、様々な取り組みが功を奏して令和8年度に向けた学生募集状況が「V字回復」とも言える素晴らしい成果を上げている。教職員の方々が本来の業務に加えて募集活動にも協力して取り組んだものであり、組織力の強さを評価する。
- ・一方、業務としてはかなりの負担があったと思うので、それについて、処遇面等で応える必要性を感じるので、方法を継続して検討してほしい。

3 教育活動

理念・目的・育成人材像に沿って教育課程の編成が行われ、シラバスや履修カルテなどを活用し、計画的な教育活動が行われている。

特筆すべき点として、以下を挙げる。

- ・ ICT 教育の一環としてメディアセンターを整備したことは、これからの時代に即した取り組みであり、非常に良い。学生がしっかり活用できるよう、引き続き整備を進めていただきたい。
- ・ 幼稚園教諭一種免許を持っていてもピアノが弾けない人もいる中、当校の卒業生については、一定のピアノ技術を備えているという信頼がある。音楽や造形などの技術面もしっかりと指導し、身につけている点は非常に心強く、今後も継続してほしい。

4 学修成果

就職率、就職先選択肢の幅広さ、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価等からその学修成果は高く評価できる。

特筆すべき点として、以下を挙げる。

- ・ 毎年就職率がほぼ 100%に達している実績が素晴らしく、高く評価する。
- ・ 公務員試験の合格率についても引き続き高い状態を維持しており、評価できる。
- ・ 近年の傾向として株式会社等への就職も多くなってきているとのことだが、現場の立場として社会福祉法人が運営する保育園への就職も引き続きお願いしたい。
- ・ 新設されたメディアセンターの活用や、求人票のウェブ閲覧化が進んでいる点は、学生にとってより良い環境だと思うので、ぜひ積極的に取り組んでほしい。

5 学生支援

学生への支援体制として、就職支援や学校生活上のサポート体制、学生相談の仕組み、経済的支援の制度が充実しており評価できる。

特筆すべき点として、以下を挙げる。

- ・通っていたわが子の様子から、学校側でしっかりとした相談・支援が行われていたことを実感している。悩みながらも、自分の意志で就職を決めることができ、安心している。
- ・日常の学生生活においても「学校がとても楽しい」と言って毎日通っており、充実した学校生活を支える、さまざまな環境が整っていることを評価する。
- ・今年度の退学者が少ないということは、学校の努力の結果である。普段からスクールカウンセラーによるカウンセリングなど学生支援が手厚く、結果に繋がったのではないかと思う。ぜひこのまま継続して頂きたい。

6 教育環境

教育環境として、施設設備、現場実習の機会をしっかりと確保することができ
ており、評価できる。

特筆すべき点として、以下を挙げる。

- ・報告にあった「一人で静かに過ごせる場所（パーテーションの設置など）」
の整備について、非常に良い取り組みである。保育園においても、最近の子
どもたちは、大人数の集団の中にいると少し落ち着かなくなってしまうケー
スが増えている実感もある。個々の学生が心理的な安全性を保てるような環
境づくりを今後も積極的に推進してほしい。

7 学生の募集と受入れ

2026年度入学生の状況について、昨年度より好転したことは評価できる。事実に基づく広報活動、適正な入試制度の運用等については、例年通りではあるが、しっかりと実施できている。。

特筆すべき点として、以下を挙げる。

- ・学校の情報を広く、深く広報する必要がある、広報部門の増員やHPの時宜を得た更新は適切な対応であり、出願者数増につながった。
- ・学生募集活動の一環として、高校家庭科授業への出張授業は依頼件数が増えているとのことで、ぜひ、多くの学校へ対応していただきたい。学校へ訪問することによって、相互の情報交換も深まり、専門学校への理解を深めてもらえる。
- ・令和8年度の高等学校入学者選抜においては、概して、保育系学科への志願者増がコロナ禍以降としては顕著である。社会的にも、幼児教育者増が期待されていることから、この機を逸することなく、さらに広報活動に努めていただきたい。

8 財 務

学生数の減少に伴う収入減により、財務状況は厳しい状況が続いている。2026年度入学生が増加したため、明るい兆しが見えてきた。財務基盤を安定させるべく、さらなる改善に取り組んでほしい。

特筆すべき点として、以下を挙げる。

- ・積極的な学生募集活動の結果、新入生が増え、財務基盤が安定に向かっていることは非常に良い。専門学校において財務基盤の安定は学生の教育環境に直結するので、引き続き改善に取り組んでほしい。
- ・財務状況が厳しい中ではあるが、教職員の努力に報いる方法（教職員の給与やボーナス）についても検討してほしい。

9 法令等の遵守

関係法令に関する最新の情報を把握し、法令遵守の観点から適切な学校運営が行われている。

特筆すべき点として、以下を挙げる。

- ・学校教育法の改正への対応も適切に行われている。
- ・個人情報の取り扱いについて、しっかりと管理されていることが確認できたので、これを継続してほしい。

10 社会貢献・地域貢献

地域貢献の観点から、もう少し地域との連携を強化していくことを求めたい。
それが学校の認知にもつながっていくと考えられる。

特筆すべき点として、以下を挙げる。

- ・自治会だけでなく、もう少し広い範囲にアプローチをしてもよい。地域の経営者やリーダーが集まる「杉並区商工会議所」や「杉並法人会」などの団体に会員登録するなど、より広く地域との繋がりを持つことで、学校の存在をより広く周知でき、学生の就職や地域活動がさらに展開する可能性がある。